

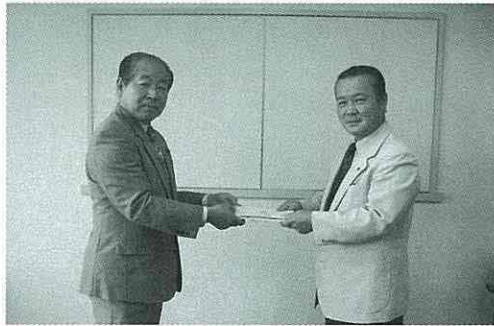
総合開発計画 策定特別委員会

市長に総合計画策定に関する中間提言書を!!

御前崎市総合計画策定に関する、中間提言書を6月23日の特別委員会で、長嶋委員長より石原市長に渡しました。

提言書の内容は「道路計画」「農業の振興」「漁業の振興」「商業の振興」「港湾の利用促進」「都市計画(下水道)」「工業の振興」「観光の振興」について、現在までの16回の委員会開催の中で調査・研究した結果をまとめたものです。

石原市長より「本日頂いた提言書は、幹部会に報告し、新市の総合計画策定に当たり、貴重なご意見として取り入れて参りたい」との発言がありました。



石原市長に提言書を渡す
長嶋委員長

総合開発策定の今後

特別委員会での協議事項は「健康・福祉」「教育」「環境・安全」についての調査・研究になります。少子高齢化が進む中、御前崎市の将来あるべき方向を策定計画に提言出来るように全委員一丸となつて参ります。

原子力対策 特別委員会

●平成17年6月23日

「国内外の原子力政策について」

講師 経済産業省・資源エネルギー庁
大臣官房参事官 原子力立地担当 野口哲男氏

原子力長期計画は、5年毎に策定しており、核燃料サイクル政策に関する中間とりまとめが報告されました。

●我が国における原子力発電の推進にあたっては、使用済燃料を再処理し回収されるプルトニウム、ウラン等を有効利用することを基本方針とする。

核燃料サイクルは、原子力発電所から出る使用済燃料を再処理し、有効資源を回収して再び燃料として利用するものであり、供給安定性等に優れているという原子力発電の特性を一層改善するものである。このため、我が国としては、核燃料サイクル政策を推進することを国の基本的考え方としている。

●諸外国の動向は、各国、政策的要因、資源要因、原子力発電の規模やコスト競争力などに応じて、再処理路線あるいは直接処分路線の選択を行っている。フランス、ロシア、中国等原子力発電の規模が大きい国や原子力発電を継続利用する基本方針の国は、再処理路線を選択している。

●浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果報告について

(平成16年4月から平成17年3月)

●浜岡原子力発電所状況報告について